



さとう よしひこ 議員 佐藤 良彦



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 男女共同参画の視点に立った 女性活躍の一層の推進を

村中町長

### 男女が平等に活躍できる環境を整備し 住民サービスの向上につなげる

□質問・佐藤議員  
内閣府は「女性活躍・男女共同参画の重点方針2023」を公表し、女性活躍と経済成長の好循環の実現などを目標に、政府全体として重点的に取り組むべき事項を定めています。  
男女共同参画は、平等なチャンスの中で活躍していただくことが当然であり、男女問わず有能な人には、町の活性化の場で様々な目線と色々な発想を持って活躍していただくことが比布町に必要です。  
男女共同参画について、どのような取り組みを行っているのかわかります。

■答弁・村中町長

町では、「比布町における女性職員の活躍を推進するための特定事業主行動計画」、次世代育成支援と女性の活躍推進を統合した「比布町特定事業主行動計画」を策定し、取組みを進めています。

働く人が男女問わず平等に活躍するためには、(1)人材育成計画、(2)透明性のある人事制度、(3)働きやすい職場環境が必要だと考えます。

本町の人材育成基本計画では性別、学歴、年齢を問わず意欲と能力の高い職員を積極的に登用することを規定し運用しています。

また、年度ごとに研修計画を策定し、北海道市町村職員研修センターの研修事業を活用しながら、女性職員キャリアビジョン研修を実施しています。

ターの研修事業を活用しながら、女性が活躍する職場を目指して女性職員キャリアビジョン研修を実施しています。

平成28年度から運用している人事評価制度は、評価結果を昇格などに反映する制度で、公平かつ客観的な評価を実施しながら、適材適所の人材配置を目指しています。

働きやすい職場環境の整備は、人材不足が問題化する現状の中で、多様なライフステージへの対応が課題であり、時短勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができるよう研究を進めます。

男女が平等に活躍できる環境を整備し、住民サービスの向上や地域全体の意識の高まりに繋がります。

## びっぷクリニック職員の今後について

□佐藤議員 クリニックの現職員から、2025年4月以降の「びっぷクリニックがどのようなことになるのか？」先が見えなく不安で仕方ないという話を伺いました。

深掘りすると、クリニック側から現職員への説明が一切無く、あまりにも不誠実であると判断し、保健福祉課にも同様な事を伝え、指導をお願いしました。保健福祉課としても以前から職員への説明を促しているようですが、実施され

てなく困惑していました。

びっぷクリニックでは、様々な職種の方々が勤務されており、職員の方々が心身の健康な状態を1日も早く取り戻す意味でも早期に説明会の実施をすべきと考えます。職員の中には、引き続き町内で働きたいと考えている方も多く、人材の流失は町にとっても大きな問題と考えますが、町長の考えを伺います。

■村中町長 びっぷクリニックの運営は、業務仕様書ならびに基本協定書等において定めており、職員配置は、現行の医療法及びその他関係法令の基準に基づき、指定管理者の責任において必要な体制を確保することになっていきます。

しかし、指定期間終了後の職員の処遇について、クリニック側から職員に対し適切な説明がなく現場から不安の声があるとのこと指摘もあり、本来、指定管理者の職員について町が意見をする立場にはないと考えますが、適正な医療提供に支障を来たす恐れもあり、クリニックに対し、職員への適切な説明を早急に行うよう意見もしています。

また、町内で継続して働きたい職員もいるとのこと指摘は、町として可能な限り地元採用の意向を次期指定管理者にもお伝えし、職員の採用について「希望があれば面談可能です」との回答もいただきました。

## 委員会の activities

# 活動

総務常任委員会  
11月25日開催

### 税務住民課

#### 《報告事項》

- 令和6年度町税等の収納状況
- 上川広域滞納整理機構の収納状況  
11件、約199万円の引き継ぎを依頼し、内5件が完納する。

#### 《協議事項》

- 第4回議会定例会提出議案
- ◇令和6年度一般会計補正予算案

#### 《その他》

12月12日からマイナンバーカードを利用して、住民票の写し、印鑑証明書、所得証明書をコンビニエンスストアの端末機で発行することができるよう「コンビニ交付」が開始される。

【A】委員からの質疑  
【Q】担当からの回答

### 保健福祉課

#### 《報告事項》

- 高齢者等の除雪サービス事業利用状況
- 除雪サービス利用世帯数134件  
(門口除雪サービス)利用世帯数75件  
(令和6年11月20日現在)
- 各種健診等受診状況
- 各医療費の状況
- 介護保険事業の利用状況等

Q あそか苑が満床とのことだが、収支の改善は図られているのか。  
A 今年度はコンサルティングを導入し、経営状況の精査をしているため、黒字化には至っていないが収入は改善されていると思います。

Q 自宅で生活するためのサービスも介護保険に含まれるのか。  
A 住宅改修などが含まれていません。

Q びっぷクリニックの入院病棟廃止により、患者は他の病院へ転院したのか。  
A あそか苑での医療的なケアの質が向上したことから、一部医療的ケアが必要な方の受け入れも可能となりました。

Q どのような経緯であそか苑の入所者が増加しているのか。  
また、待機者は何名か。

A 介護ケアの質が向上していることで、町民に選ばれる施設になってきています。  
現在の待機者は15名程度です。

#### 《協議事項》

- 第3回議会臨時会提出議案
- ◇議決事項の一部変更
- 第4回議会定例会提出議案
- ◇人権擁護委員候補者の推薦
- ◇比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◇令和6年度一般会計補正予算案
- ◇令和6年度介護保険特別会計補正予算案

#### 《その他》

■高齢者等移動支援事業「びびたく号」について

Q 10月から運行区域が一部拡大となり、町外(ツルハドラッグ当麻店、コメリハード&グリーン当麻店)への送迎も可能となったが、利用者は何名いるのか。  
A 10月は3件、11月は25日現在で0件となっています。

### 教育課

#### 《報告事項》

- ▽学校教育係
- 義務教育学校「比布中央学校」行政視察
- ◇北海道庁総務部長他3名(10月22日)
- ◇共和町教育委員会 開校準備委員会委員・職員6名(11月20日)
- 食育講演会
- 《講師》一般社団法人ナチュラル&ミネラル食品アドバイザー協会 代表理事 中戸川 貢 氏
- 君の夢プロジェクト
- ◇吹奏楽部(10月11〜12日)
- ▽文化振興係
- 公民館事業「秋の天体観測」(9月18日) 参加者 約80名
- 町民文化祭(11月1〜3日)
- 《芸能発表》17団体、101名
- 《作品展示》出展団体：19団体、個人：13名、作品数：1,195点

Q 町民文化祭の作品展示について、空きスペースが増えてきている。郷土資料などの展示はできないか。  
A 今年度の展示手法について改善点がありますので、郷土資料の展示も含め、検討していきます。